

自選 荷風百句

永井荷風

青空文庫

自選 荷風百句序

わが発句の口吟こうぎん、もとより集にあむべき心とてもなかりしかば、書きもとどめず、年とともに大方おおかたは忘れはてしに、おりおり人の訪来とらいりて、わがいなむをも聴かず、短冊色帔しきしなど請こわるものから、是非もなく旧句をおもい出いだして責せめふさぐことも、やがて度たび重かさなるにつれ、過ぎにし年月、下町のかなたこなたに佗わびずま住びいして、朝夕の湯帰りに見てすぎし町のさま、又は女どもと打うちつどいて三味線さみせん引きならいたる夜々のたのしみも、亦おのずか

ら思返されて、かえらぬわかき日のなつかしさに堪えもやらねば、
 今はさすがに棄てがたき心地せらるるものをえらみ、老おいの寐覚の
 つれづれをなぐさむるよすがとはなしつ。

昭和丑うしのとし夏五月

荷風散人

春之部

墨も濃くまづ元日の日記かな
すみ こ

正月や宵寐の町を風のこゑ
よひね

暫の顔にも似たりかざり海老
しばらくかほ えび

羽子板や裏絵さびしき夜の梅

子を持たぬ身をつれくや松の内

九段坂^{うへ}上の茶屋にて

初^{はつこち}東風や富士見る町の茶屋つゞき

まだ咲かぬ梅をながめて^{ひとり}一人かな

清元なにがしに贈る

青^{あをだけ}竹のしのび返^{がへし}や春の雪

市川左団次^{ぢやうたばこいれ}丈煙草入の筒に

春の船名所^{かな}ゆびさすきせる哉

自画像

永き日やつばたれさが下るふる古帽子ぼうし

浅草画賛

永き日や鳩も見てあひぬき居合抜

柳やなぎ嶋しま画賛

春寒はるさむや船からあがる女づれ

葡萄酒ぶだうしゆの色にさきけりさくらさくら草くさ

紅梅こうばいに雪のふる日や茶のけいこ

出でそびれて家にゐる日やさし柳

銀座裏あるの或酒亭にて二句

よけて入いる雨の柳や切戸きりどぐち口

傘さゝぬ人のゆきゝや春の雨

妓楼あんどうの行燈あんどうに

しのび音ねも泥の中なる田螺たにし哉

室むろ咲ざきの西洋花ばなや春寒し

日のあたる窓の障子しやうじや福寿草ふくじゆさう

うぐひすや障子にうつる水の紋あや

色町や真昼しづかに猫の恋

画賛

門かどの灯ひや昼もそのまゝ 糸いとやなぎ柳やなぎ

石垣にはこべの花や 橋はし普請ふしん

送別二句

笈きふを負おふうしろ姿や花のくも

行先ゆくさきはさぞや門出かどでの初はつざくら

鼾いたち鳴く庭の小雨こあめや暮くれの春

ゆくはる
行春やゆるむ鼻緒の日和下駄
はなを ひよりげた

春惜しむ風の一日や船の上
を ひとひ うへ

夏之部

夕風や吹くともなしに竹の秋
ゆふかぜ

よし切や葛飾ひろき北みなみ
きり かっしか

待つ人の来ざりしかば

水雞くひなさへ待てどたゝかぬ夜よなりけり

築地閑居

夕河岸ゆふがしの鱒あぢ売うる声こゑや雨あまあがり

御家人ごけにんの傘張かさる門かどや桐の花

明あけやすき夜よや土蔵どぞうの白しろき壁

青梅あをうめの屋根打やつ音ねや五月寒さつきさむ

八文字はちもんじふむや金魚のおよぎぶり

荷船にふねにもなびくのぼり幟こあみがしや小網河岸

四月十八日

物干ものほしに富士やをがまむ北斎忌ほくさいき

芍薬しやくやくやつくゑの上の紅楼夢こうろうむ

卯の花うの花や小橋こはしを前まへのくゞり門

百合ゆりの香かや人待かどつ門かどの薄月うすづきよ夜

蝙蝠かうもりやひるも燈ひともす樂屋がくやぐち口

石せき 菖しやう 或やう 窓まどから見える柳やなぎばし

一ひとツ目めの橋はしや墨すみ絵ゑのほとゝぎす

向嶋むかしん水すゐ神しんの茶屋ちやにて

葉はざくらや人ひとに知られぬ昼ひるあそび

散りて後悟るすがたや芥子の花

わが儘ままにのびて花さく薊あざみかな

あぢさゐりや瀧夜叉姫たきやしやひめが花かざし

拝領のいちぢく一軸古りし牡丹ぼたん哉かな

涼しさや庭のあかりは鄰となりから

枝刈りて柳すゞしき月夜哉

涼風すずかぜを腹はら一いつぱいの仁王かな

鞞さやながら筆ふでもかびけりさつき雨

五月雨さみだれの或夜あるよは秋のこゝろ哉

住みあきし我家わがやながらも 青あを簾すだれ

蚊あしばしらを見てうちる中に月夜哉

藪越やぶごしに動く白帆しらほや雲の峯

中洲眺望なかず

深川ふかがはや低き家並やなみのさつき空

みち潮しほや風も南のさつき川

妓ぎの持ちし扇あふぎに

気に入らぬ髪結ゆひなほ直すあつさ哉

秋近き夜よふけの風や屋根の草

秋之部

蘭らんの葉のとがりし先さきや初はつ嵐あらし

稻妻いなづまや世をすねて住む竹の奥

女の絵姿に

半襟はんえりも蔦つたのもみぢや窓の秋

四谷怪談画賛四句

初^{はつ}汐^{しほ}や寄^よる藻^もの中^{なか}に人^{ひと}の骨^{ほね}

櫛^{しきび}売^うる小^こ家^{いへ}の窓^{まど}や秋^{あき}の風^{かぜ}

人^{ひと}のもの質^{しち}に置^おきけり暮^{くれ}の秋^{あき}

川^{かわ}風^{かぜ}も秋^{あき}となりけり釣^{つり}の糸^{いと}

象^{ざう}も耳^{みみ}立^たてゝ聞^きくかや秋^{あき}の風^{かぜ}

鯨^{はげ}つりの見^み返^{かへ}る空^{そら}や本^{ほん}願^{ぐわん}寺^じ

庭下駄にはげたの重きあゆみや露はぎの萩

かくれ住む門かどに目立つや葉雞頭はげいとう

浅草あさくさや夜長よながの町ふるぎみせの古着店

糸屑いとくづにまじる柳ひとはの一葉かな

病中の吟

粉薬こぐすりやあふむく口に秋の風

降り足らぬ残暑の雨や屋根の塵ちり

秋の雲雨ならむとして海の上

引汐ひきしほや蘆間あしまにうごく秋の雲

物もの足るや葡萄ぶどう無花果いちじゆく倉くらずまひ

芝しば口ぐちの茶屋ちや金兵衛きんべゑにて三句

盛もり塩しほの露つゆにとけ行くゆ夜よごろかな

柚ゆずの香かや秋もふけ行く夜の膳ぜん

秋風や鮎あゆ焼く塩のこげ加減かげん

小波さざなみ大人追悼し

極ごく楽らくに行く人送る花野はなのかな

妓の写真に

吉日きちにちをえらむ弘ひろめや菊日きくび和より

行秋ゆくあきや雨にもならで暮るゝ空

秋あき雨さめや夕餉ゆふげの箸はしの手くらがり

雨やんで庭しづかなり秋の蝶てふ

昼月ひるづきや木こずゑに残る柿ひと一ツ

冬之部

初霜や物干竿ものほしぎをの節ふしの上うへ

降りやみし時雨しぐれのあとや八ツ手やの葉で

釣干菜つりほしなそれ者しやと見ゆる人の果はて

箱庭はこにはも浮世うきよにおなじ木この葉はかな

古足袋ふるたびの四十しじふもむかし古ふる机づくゑ

代地河岸の閑居二句

北きたむき向の庭にさす日や敷松葉しきまつば

垣越かきしの一いつちゆうぶし中節しや冬の雨

よみさしの小本こほんふせたる炬燵こたつかな哉

小机こづくゑに墨摺する音や夜半よはの冬

冬空や麻布あざぶの坂あがの上りおり

門もんを出でて行先ゆくさきまどふ雪見かな

雪になる小降りこぶの雨や暮の鐘かね

湯帰りゆがへや燈ひともしころの雪もよひ

窓の燈やわが家やうれしき夜よるの雪

寒き夜よや物読みなるゝ膝ひざの上うへ

冬ざれや雨にぬれたる枯葉かれはだけ竹

襟えりまきやしのぶ浮世の裏うらどほり通

落ち
 落る葉は残らず落ちて昼の月

落ちのこ
 落残る赤き木の实や霜柱

あれには
 荒庭や桐の実つゝく寒雀

ぢやう
 昼間から錠さす門の落葉哉

冬空や風に吹かれて沈む月

寒^{かん}月^{げつ}やいよく^さ冴^さえて風の声

小松川漫歩三句

あちこちに^{わか}分るゝ水や村^{むら}千鳥^{ちどり}

寒^{かん}き日^ひや川^{がわ}に落^{おち}込^こむ川^{がわ}の水

大^{だい}根^{こん}干^{かん}す茅^{かや}の軒^{のき}端^ばや舟^{ふな}大^{だい}工^{こう}

下^か駄^だ買^かうて^{たんす}箆^{たんす}筒^すの上^のや年^{とし}の暮^{ゆふ}

麻布閑居

座^ざ布^ふ団^{とん}も綿^{わた}ばかりなる師^し走^{はす}哉

行^{ゆく}年^{とし}や鄰^{となり}うらやむ人の声

青空文庫情報

底本：「麻布襟記——附・自選荷風百句」中公文庫、中央公論
新社

2018（平成30）年7月25日初版発行

底本の親本：「荷風全集 第十四卷」中央公論社

1950（昭和25）年10月25日発行

初出：「おもかげ」岩波書店

1938（昭和13）年7月10日

※「灯《ひ》」と「燈《ひ》」の混在は、底本通りです。底本の
親本、「おもかげ」岩波書店1938年7月10日第1刷発行、「おもか

げ」岩波書店1938年7月30日第2刷発行、「荷風句集」細川書店1948年2月25日刊行では、「灯」に統一されています。

※表題は底本では、「[#割り注]自選[#割り注終わり] 荷風百句」となっています。

※ルビの誤植を疑った箇所を、「荷風全集 第二十巻」岩波書店、1985（昭和60）年4月5日発行の表記にそって、あらためました。

（底本の「編集付記」に「難読と思われる語には岩波書店版『荷風全集』等を参照し、新たにルビを付した」とあるので）

入力：kompass

校正：砂場清隆

2020年3月28日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

自選 荷風百句

永井荷風

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>